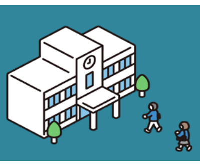
森林はサステナブル
～菱山財産区植林活動～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数（赤字は内学校運営協議会委員数）			地域学校協働本部
甲州市立 菱山小学校	菱山小学校学校運営協議会	地域学校協働活動推進員	0 名	0 名	―
	平成30年4月1日 設置	地域コーディネーター	5 名	5 名	

取組の背景及び目標や目指す姿

背景

棚横手山（山梨百名山の一つ）は、過去4度（平成5年：75ha、平成9年：375ha、平成19年：19ha、平成21年：92ha）の山林火災に襲われた。最後の山林火災があった直後の平成21年から、地域の方々の呼びかけにより植林活動が行われている。焼け残った木、茶色の枯れ葉が残り裸状態の斜面を毎年、植林していくことにより、少しずつではあるが、緑が増えている。この植林活動（地域学校協働活動）を菱山小学校の総合的な学習の時間の中に位置づけている。

目標や目指す姿（学校）

ふるさとに誇りを持ち、緑を愛し、緑を守り育てる心の育成

目標や目指す姿（地域）

自然を愛し、大人になっても、ふるさとに愛着と誇りが持てる児童の育成

菱山小学校学校運営協議会　の特徴

委員の立場や属性等

- ☐ 財産区　区長
- ☐ 区長会　会長
- ☐ 公民館　館長
- ☐ 教員OB
- ☐ PTA会長

など、計 **5** 名で構成

年間平均 **3** 回程度開催

効果的な運営の工夫

具体的な協議にするため、学校からの説明は、写真などを用いたプレゼンテーションの形式で行っている。また、授業参観を行い、指導の様子や児童の実態、GIGAスクール構想などの現在の学習環境を直接見てもらった上で、学校としての成果や課題などをより細かく熟議できるようにしている。

ぶどう栽培が盛んな地域であり、学校運営協議会の委員の中にもぶどう農家の方がいるので、農繁期を避けるなど、協議会に参加しやすい状況をつくっている。

特徴的な取組と成果・効果

取組

学校運営協議会

菱山地区は、坂が多い。ゆえに、昔から地域住民が助け合ってきた。山林火災後、焼け残った木の中には、祖父母や曾祖父母が植えたものもあり、その営みが脈々と続き森は守られてきた。こうした地域の伝統や願いを共有し、学校や児童とともに、地域が一体となって植林活動を進めている。

学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

児童は、車と徒歩で1時間ほどかけて植林地へ向かう。約300本のヒノキの苗木を2時間ほどかけて植える。この取組のねらいを共有した財産区役員を中心とした地域住民が、植林指導、車の手配、道具の準備、植林地までの下草の除草等を主体的に行っている。

菱山財産区植林活動

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

◆菱山地区で生まれ育った学校運営協議会委員による、菱山地区の歴史・文化の説明
◆財産区役員による、植林活動の歴史、植林活動への願い・思いの紹介
◆学校による、総合的な学習の時間の単元の中に植林活動が位置付いていること等についての説明
それぞれの立場や考えを基に熟議を行い、地域学校協働活動の目的・内容などを共通理解できる場を設定した。

成果・効果

本校では以前から、総合的な学習の時間の学習活動として、森の仕組みや役割、森林との向き合い方について学ぶ森林学習を行ってきた。地域学校協働活動としての植林活動を始めたことにより、苦労して植えた木が育ち、森になる様子を知ることができ、教室の授業だけでは分からないことを学び、ふるさとを愛する心を養うことができるようになった。学校運営協議会で熟議された内容を踏まえ、協議会会長のコーディネートにより、植林活動に関連する諸団体と連携し、効果的な取組となった。
【学校】・植林活動事前学習会では、地域の関係者の協力を得て、「森林の循環利用とSDGs」「山梨県と甲州市の森林の状況」「財産区植林活動の歴史・植林への思い」等の貴重な学習をすることができた。　・植林活動を通して、児童たちはふるさとへの誇り持ち始め、環境保全への意識が向上してきた。【地域】・この地域学校協働活動を、先祖が木を植え守ってきた森、先人たちの森林への思いを次世代に引き継ぐための価値ある活動としてとらえている。【参加した児童・地域住民の声】「どのくらいたつと、あのくらい大きくなるのかな。」（6年児童）、「去年、植えた木が大きくなっていることが分かった。もっと育って、森の一部になってほしい。」（6年児童）、「僕たちが植えた木が大きくなってほしい。そして、いつか、またここに見に来たい。」（5年児童）、「子供たちが二十歳になった時、成長した木を眺めて『じいじと一緒に植えたな』と思い出してほしい。」（財産区役員）、「昔に比べ、住民の山への関心が低くなっている。子供の頃から山に親しむことが大人になっても山を大切にする気持ちにつながる。」（地域住民）